

本研究会における検討について

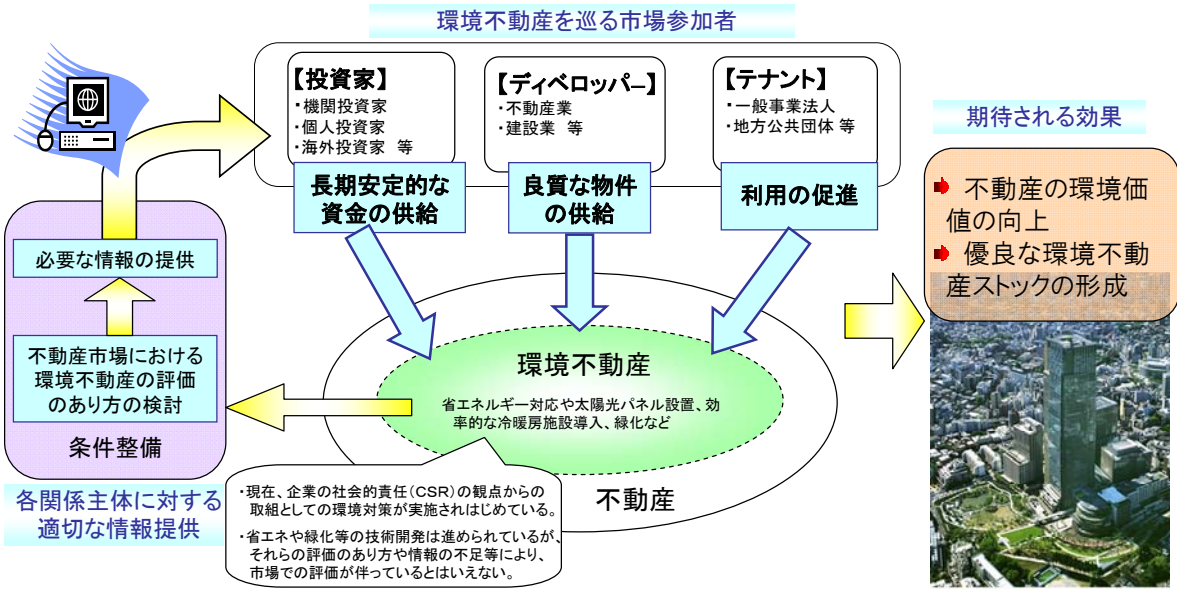
1：本研究会の背景・目的（第1回本研究会資料より）

深刻化する地球環境問題への対応における不動産分野の役割に鑑み、環境価値を重視した優良な不動産（環境不動産）ストックの形成を図るため、環境不動産への投資を促進することが必要。しかしながら、現状では、我が国では世界的に高い環境配慮技術を有するものの、環境不動産が投資家等に認識・評価され持続的に投資が促進される状況に至っていない。



このため、欧米で普及しつつある責任不動産投資（RPI：Responsible Property Investing）の考え方も踏まえつつ、環境価値を重視した不動産市場の形成を図るため、今年度、不動産の環境価値の評価・分析や投資家に求められる情報整備手法の検討を行う。

環境不動産の経済価値が市場で評価される仕組み（イメージ）



2：今年度の検討の進め方について

- ・環境不動産の経済価値評価や情報整備のあり方について、具体的な議論を行うため、研究会の下にワーキングを設置し、検討を行った。
- ・ワーキングは、経済価値ワーキング（環境不動産に係る経済価値評価について議論）と情報整備ワーキング（環境に配慮したサステナブルな不動産市場形成に向けた適切な情報整備のあり方について議論）の2つを設置し、それぞれ2回ずつ合計4回開催し、議論を行った。

